

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成23年11月11日

【四半期会計期間】 第49期第2四半期(自 平成23年7月1日 至 平成23年9月30日)

【会社名】 株式会社キムラタン

【英訳名】 KIMURATAN CORPORATION

【代表者の役職氏名】 取締役社長 浅川 岳彦

【本店の所在の場所】 神戸市中央区港島六丁目6番地2
神和ビル

【電話番号】 神戸(078)306-0801

【事務連絡者氏名】 取締役 木村 裕輔

【最寄りの連絡場所】 神戸市中央区港島六丁目6番地2
神和ビル

【電話番号】 神戸(078)306-0801

【事務連絡者氏名】 取締役 木村 裕輔

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第48期 第2四半期 連結累計期間		第49期 第2四半期 連結累計期間		第48期	
		自 至	平成22年4月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成22年4月1日 平成23年3月31日
売上高	(千円)		2,013,053		2,209,489		4,429,194
経常利益又は経常損失()	(千円)		53,020		11,315		33,880
当期純利益又は四半期純損失 ()	(千円)		73,340		16,347		2,422
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		74,673		16,347		2,422
純資産額	(千円)		971,495		1,032,239		1,048,587
総資産額	(千円)		1,785,937		2,042,380		1,776,780
1株当たり当期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額 ()	(円)		0.09		0.02		0.00
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		54.4		50.5		59.0
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		127,947		137,255		38,116
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		15,887		8,757		18,603
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		39,437		94,665		35,806
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		19,282		56,038		107,386

回次		第48期 第2四半期 連結会計期間		第49期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成22年7月1日 平成22年9月30日	自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		0.02		0.04

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 第48期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。
4. 第48期第2四半期連結累計期間及び第49期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 第48期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また主要な関係会社についても異動はありません。

なお、報告セグメントについて第1四半期連結累計期間より「リテール事業」と「ホールセール事業」の2つの報告セグメントと致しました。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期連結財務諸表 注記事項（セグメント情報等）セグメント情報」の「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1)業績の状況

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災により停滞した生産の回復とともに、消費の自粛ムードも緩和されたものの、電力不足の影響や原材料の高騰、長期化する円高により、依然として厳しい状況が続きました。さらに、深刻化する欧州債務問題や米国経済の減速など、先行きの不透明感が強まりました。

このような状況下で、当社は、当期において直接的に消費者に向き合う「リテール」事業と、得意先に卸販売する「ホールセール」事業とに既存の業態を整理し、ブランド・組織・人員を2分する組織改編を行いました。両事業の収益構造の確立を目指して、それぞれの顧客から求められる製品とサービス、オペレーションを明確にし、専門化、運営力向上に取り組んでまいりました。

消費者と直接向き合うリテール事業は、既存のショップ業態に前期に開設した百貨店インショップを包含し、NET業態、今春よりスタートした百貨店fasショップの3業態を中心に、サービスの質を高めながら客数の増加を目指してまいりました。得意先に卸販売するホールセール事業では、「価値が価格を上回る」商品開発に注力するとともに、得意先数の拡大に取り組んでまいりました。

売上高は、前年同期比9.8%増の22億9百万円となりました。リテール事業では、ショップ業態及びNET業態の既存店が好調に推移し、また、新規店舗につきましても計画どおりに開設を実施いたしました。ホールセール事業では、既存ブランドの販売増に加え、バリュープライス企画商品の受注が大きく拡大いたしました。

売上総利益につきましては、売上増に伴い前年同期比9.8%増の10億31百万円となりました。一方で、販売費及び一般管理費は、前年同期比4.2%増の10億27百万円となりました。売上拡大による店舗家賃、物流費等の増加がありましたが、人件費等の固定費に大きな変動はなく、コスト効率が高まることとなりました。その結果、経費率は前年同期に対し2.5ポイント減少の46.5%となりました。以上の結果、営業利益は3百万円（前年同期は47百万円の損失）となり、僅かではありますが、第2四半期連結累計で黒字転換することができました。また、経常損失は11百万円（前年同期に対し41百万円の改善）、四半期純損失は16百万円（前年同期に対し56百万円の改善）と前年同期に対し改善することができました。

リテール事業

ショップ業態では、品揃え、売場づくり、接客等のサービス力を高めるとともに、「値下げ率」のさらなる低減と「消化率」の向上を目指してオペレーション力の一層の強化に注力し、当社ショップの収益構造の確立を目指してまいりました。その結果、既存店ベースの売上高は5.4%増と好調な推移となりました。また、当第2四半期連結累計期間において8店舗の開設と1店舗の閉店を実施し、当四半期末の店舗数は145店舗となりました。その結果、ショップ業態の全店ベースの売上高は、前年同期比6.8%増の12億30百万円となりました。

今春より新規にスタートしました「f a s」ブランドの百貨店ショップは、本年4月に2店舗オープンし、7店舗の展開となりました。昨秋より先行したNETでの販売を含め、お客様の認知度アップに努めましたが、やや低調な推移となり、売上高は61百万円となりました。

NET業態の売上高は前年同期比29.2%増の1億28百万円となりました。お客様のニーズに対応したサイトづくりに努め、また、アウトレット販売を強化した結果、購買客数、客単価の拡大に繋がり、好調な推移となりました。

以上の結果、リテール事業全体の売上高は前年同期比5.6%増の14億38百万円となり、セグメント利益（営業利益）は88百万円となりました。

ホールセール事業

ホールセール事業では、価値ある製品の提供とともに、顧客の利便性の向上と新規顧客の獲得を目指したWEB受注システムの充実に取り組んでまいりました。これらの取り組みの結果、各得意先における既存ブランドの取扱い高の増加、バリュープライス企画の受注増に加え、新ブランドの投入効果により、GMS（総合スーパー）、専門店とも増収となり、ホールセール事業の売上高は前年同期比18.9%増の7億70百万円、セグメント利益は69百万円となりました。

(2)財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末と比較して2億65百万円増加し、20億42百万円となりました。主な増加は受取手形及び売掛金77百万円、商品及び製品2億66百万円等であり、主な減少は現金及び預金51百万円等であります。

負債は前連結会計年度末と比較して2億81百万円増加し、10億10百万円となりました。主な増加は支払手形及び買掛金1億91百万円、借入金94百万円であります。

純資産は前連結会計年度末と比較して16百万円減少し、10億32百万円となりました。これは四半期純損失によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の59.0%から50.5%となりました。

(3)キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ51百万円減少し、56百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは1億37百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は1億27百万円の支出)となりました。税金等調整前四半期純損失13百万円に対し、減価償却費17百万円、仕入債務の増加1億91百万円の増加要因がありましたが、売上高の拡大に伴う売上債権の増加77百万円、棚卸資産の増加2億65百万円の減少要因によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローは8百万円の支出(前第2四半期連結累計期間は15百万円の支出)となりました。主な内訳は有形固定資産の取得による支出14百万円、その他の収入7百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは94百万円の収入(前第2四半期連結累計期間は39百万円の収入)となりました。主な内訳は短期借入金の増加10百万円、長期借入れによる収入1億円、長期借入金の返済による支出15百万円です。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5)研究開発活動

当第2四半期連結累計期間において、研究開発費の計上はありません。

(6)従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社または提出会社の従業員数の著しい増減はありません。

(7)生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において生産実績が前年同期比20.6%増、販売実績が前年同期比9.8%増となりました。この理由につきましては、3「財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」(1)業績の状況に記載のとおりであります。

(8)主要な設備

当第2四半期連結累計期間において、主要な設備の著しい変動及び主要な設備の前連結会計年度末における計画の著しい変動はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,000,000,000
計	1,000,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成23年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成23年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	790,093,101	790,093,101	大阪証券取引所 市場第一部	完全議決権株式であり、権利内容に何ら制限のない、当社における標準となる株式です。なお、当社は種類株式発行会社ではありません。普通株式は振替株式であり、単元株式は1,000株であります。
計	790,093,101	790,093,101		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成23年9月30日		790,093		903,408		221,490

(6) 【大株主の状況】

平成23年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
株式会社ウィンフィールド	愛知県大府市共西町5丁目119-1	7,500	0.94
三上貴子	兵庫県尼崎市	7,300	0.92
株式会社SBI証券	東京都港区六本木1丁目6-1	5,155	0.65
一條敏武	福島県会津若松市	4,680	0.59
宮下晃男	群馬県前橋市	4,528	0.57
御所野侃	埼玉県越谷市	4,501	0.56
大塚二美夫	埼玉県鳩ヶ谷市	4,379	0.55
片岡房雄	東京都江東区	4,369	0.55
有限会社協和商事	埼玉県越谷市新川町2丁目68-5	4,043	0.51
株式会社アベントラーコーポレーション	福島県郡山市土瓜1丁目195-2	3,034	0.38
計		49,489	6.26

(注) 上記のほか、証券保管振替機構名義の株式が、1,055千株あります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成23年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 82,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 789,796,000	789,796	
単元未満株式	普通株式 215,101		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	790,093,101		
総株主の議決権		789,796	

(注) 1 「完全議決権株式(その他)」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が1,055,000株(議決権1,055個)が含まれております。

2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式262株が含まれております。

【自己株式等】

平成23年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社キムラタン	神戸市中央区港島六丁目 6番地2 神和ビル	82,000		82,000	0.01
計		82,000		82,000	0.01

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、神明監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	107,386	56,038
受取手形及び売掛金	695,358	772,801
商品及び製品	733,992	1,000,456
仕掛品	7,811	17,165
原材料及び貯蔵品	36,750	26,282
その他	33,700	25,281
貸倒引当金	17,455	19,810
流動資産合計	1,597,544	1,878,216
固定資産		
有形固定資産	80,470	79,403
無形固定資産	27,411	22,105
投資その他の資産		
破産更生債権等	445,322	431,616
その他	37,620	34,579
貸倒引当金	411,588	403,540
投資その他の資産合計	71,353	62,655
固定資産合計	179,236	164,163
資産合計	1,776,780	2,042,380
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	368,060	559,374
短期借入金	108,000	118,000
1年内返済予定の長期借入金	46,700	70,258
未払金	95,659	104,827
未払法人税等	8,712	5,411
返品調整引当金	14,000	9,900
ポイント引当金	3,800	4,000
その他	80,219	73,683
流動負債合計	725,152	945,455
固定負債		
長期借入金	-	61,108
資産除去債務	3,041	3,578
固定負債合計	3,041	64,686
負債合計	728,193	1,010,141
純資産の部		
株主資本		
資本金	903,408	903,408
資本剰余金	221,490	221,490
利益剰余金	72,091	88,438
自己株式	4,219	4,220
株主資本合計	1,048,587	1,032,239
純資産合計	1,048,587	1,032,239
負債純資産合計	1,776,780	2,042,380

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	2,013,053	2,209,489
売上原価	1,069,044	1,182,159
売上総利益	944,009	1,027,330
返品調整引当金戻入額	5,000	14,000
返品調整引当金繰入額	10,000	9,900
差引売上総利益	939,009	1,031,430
販売費及び一般管理費	986,647	1,027,646
営業利益又は営業損失()	47,638	3,784
営業外収益		
受取利息	13	8
受取配当金	34	-
その他	1,096	4,601
営業外収益合計	1,143	4,610
営業外費用		
支払利息	5,676	6,842
その他	849	12,866
営業外費用合計	6,526	19,709
経常損失()	53,020	11,315
特別利益		
投資有価証券割当益	4,816	-
貸倒引当金戻入額	504	-
特別利益合計	5,321	-
特別損失		
固定資産除却損	-	1,164
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,966	-
訴訟関連損失	-	574
その他	3,239	393
特別損失合計	21,205	2,132
税金等調整前四半期純損失()	68,905	13,447
法人税、住民税及び事業税	4,435	2,899
法人税等合計	4,435	2,899
少数株主損益調整前四半期純損失()	73,340	16,347
四半期純損失()	73,340	16,347

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	73,340	16,347
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	1,332	-
その他の包括利益合計	1,332	-
四半期包括利益	74,673	16,347
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,673	16,347
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失()	68,905	13,447
減価償却費	20,789	17,799
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,295	5,693
返品調整引当金の増減額(は減少)	5,000	4,100
ポイント引当金の増減額(は減少)	300	200
受取利息及び受取配当金	47	8
支払利息	5,676	6,842
投資有価証券割当益	4,760	-
固定資産除却損	2,730	1,164
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	17,966	-
売上債権の増減額(は増加)	162,784	77,167
たな卸資産の増減額(は増加)	150,206	265,350
仕入債務の増減額(は減少)	222,650	191,313
その他	6,361	25,581
小計	116,655	122,866
利息及び配当金の受取額	47	8
利息の支払額	6,311	8,048
法人税等の支払額	5,027	6,348
営業活動によるキャッシュ・フロー	127,947	137,255
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	12,693	14,057
無形固定資産の取得による支出	164	-
その他の収入	20	7,300
その他の支出	3,050	2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	15,887	8,757
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	80,000	62,000
短期借入金の返済による支出	40,560	52,000
長期借入れによる収入	-	100,000
長期借入金の返済による支出	-	15,334
自己株式の取得による支出	2	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	39,437	94,665
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	104,397	51,348
現金及び現金同等物の期首残高	123,679	107,386
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,282	56,038

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

該当事項はありません。

【会計方針の変更等】

該当事項はありません。

【四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理】

該当事項はありません。

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	
第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。	

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

手形割引高及び裏書譲渡高

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
受取手形割引高	30,816千円	36,874千円

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
荷造及び発送費	37,644千円	53,105千円
販売促進費	35,674	14,649
ポイント引当金繰入額	2,680	2,224
給料及び手当	316,436	328,077
賞与	12,829	8,140
退職給付費用	4,991	4,937
賃借料	287,843	324,853
支払手数料	118,833	128,056
租税公課	4,734	4,793
減価償却費	18,839	16,539

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
現金及び預金	19,282千円	56,038千円
現金及び現金同等物	19,282千円	56,038千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 配当金支払額

配当金の支払いはありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

配当金の支払いはありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当社および当社の連結子会社は、主としてベビー衣料・子供服の販売を行っておりますが、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める前掲のアパレル事業の割合が、いずれも90%を超えているため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	リテール 事業	ホールセール 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,438,835	770,654	2,209,489		2,209,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高					
計	1,438,835	770,654	2,209,489		2,209,489
セグメント利益	88,460	69,480	157,941	154,157	3,784

(注)1 セグメント利益の調整額 154,157千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

平成23年4月1日付で組織変更を行っております。これに伴い、新たな社内業績管理体制を構築したため、業績評価についても変更を行い、第1四半期連結累計期間より「リテール事業」と「ホールセール事業」の2つの報告セグメントと致しました。

なお、当該組織変更を反映した前第2四半期連結累計期間の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報は、当該情報を作成することが困難であるため、当四半期連結累計期間について前連結会計年度の区分方法により区分した情報により作成しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント	その他	四半期連結損益計算書 計上額
	アパレル事業		
売上高			
外部顧客への売上高	2,209,489		2,209,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高			
計	2,209,489		2,209,489
セグメント利益	3,784		3,784

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純損失金額()	0円09銭	0円02銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額()(千円)	73,340	16,347
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額()(千円)	73,340	16,347
普通株式の期中平均株式数(千株)	790,012	790,010

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成23年11月9日

株式会社キムラタン
取締役会 御中

神明監査法人

代表社員
業務執行社員 公認会計士 竹 川 正 剛 印

代表社員
業務執行社員 公認会計士 角 橋 実 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社キムラタンの平成23年4月1日から平成24年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成23年7月1日から平成23年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社キムラタン及び連結子会社の平成23年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。